

ThorensTD124 の活用(5)

— ミニスピーカー —

1. 始めに

前報(4)に引き続き、ThorensTD124 の再生でミニスピーカーのシステムで聴いていきます。

2. ThorensTD124 の試聴方法

ThorensTD124 の再生は、前報(1)のとおりです。

ミニスピーカーとしては、下記の 2 機種を使用します。通常、これらはステレオ誌付録のデジタルアンプ LXA-OT1 で駆動していますが、今回は、スピーカーと時代背景が似通った PX-25 シングルを使用してみます。

ミニスピーカー駆動アンプの PX-25 シングルには TruPhase から ExProSV-1 経由で入力します。



TELEFUNKEN HK68-A

Isophon 10cm フルレンジ

ThorensTD124 の音源は下記とします。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein

キングレコード SKA-104

愛と自然の歌

倍賞千恵子

2. ThorensTD124 の試聴結果

HK-68A のユニットは Isophon 10cm フルレンジで、これらが 6 個入った壁掛け型のスピーカーで、TELEFUNKEN の録音スタジオのモニター用として使用されていたとのこと。

Sonatas & Partitas は、浸透力があり、無指向性のような広がり感もあって Milstein の艶のあるヴァイオリンの芯のしっかりしたボウイングも伝わってきます。

倍賞千恵子は、広がり感もあって、伸び伸びと歌唱のニュアンスもしっかり伝わりました。

Isophon 10cm フルレンジは、ユニット 1 個の家庭用スピーカーです。

Sonatas & Partitas は、Milstein の艶のあるヴァイオリンの芯のしっかりしたボウイングが伝わってきます。

倍賞千恵子は、スピーカーのサイズの割には、伸び伸びとした歌唱が伝わってきました。

このように 10cm フルレンジでも PX25 との相性もよく、帯域を限定すれば、かなりのクオリティで楽しめるということです。

4. まとめ

ThorensTD124 は、プレイヤー、トランス、真空管式のフォノイコなどの効果に加えて、PX25 というレトロな真空管を使ったアンプと Isophon の 10cm フルレンジから構成された旧型のミニスピーカーという組み合わせで、広帯域ではありませんが、帯域を限定すれば、それなりのまとまった音がしています。

以上